JCH0東京城東病院

病院名・診療科名・研修プログラム名

JCHO東京城東病院総合内科

住所・ホームページアドレス・連絡先メールアドレス

住所: 〒136-0071 東京都江東区亀戸9-13-1

ホームページ: http://jyoutoubyouinsougounaika. hatenablog. com/

連絡先メール: jotosec@gmail.com



指導医名·記載者名

森川暢

研修プログラムの目標としている医師像

JCHO東京城東病院が考える日本版ホスピタリストは幅広い内科疾患の診断と治療が出来ることを前提としています。

また、病棟だけでなく救急・外来と幅広い分野で活躍できる人材を考えています。

さらに、家庭医療の理論も持ち合わせ、社会的問題や多職種連携にも強い人材です。 日本版ホスピタリストに必要とされる4大能力は以下の通りです。

- ① 臨床推論の能力
- ② 内科マネージメント能力
- ③ エビデンスを適切に運用する能力
- ④ 病院で家庭医療の理論を実践する能力

スタッフ人数

男性3人 女性0人

レジデント人数

男性5人 女性1人

当直

当直:月3-4回 (当直明けは12時半に帰宅可能)

診療科独自の病床数

40-50床

勉強会やカンファレンスの開催曜日・時間とその概要

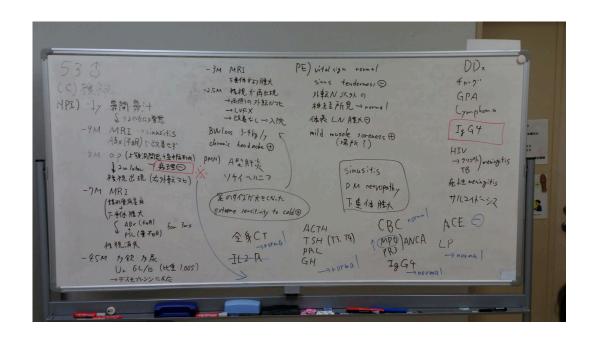
月曜日:ジャーナル流し読み

火曜日:コアレクチャー

水曜日:ジャーナルクラブ

木曜日:マニュアルカンファ

金曜日:臨床推論カンファ、院外講師招聘(不定期)



徳田安春先生、山中克郎先生、青木眞先生、南郷栄秀先生、上田剛士先生、志水太郎先生、坂本壮先生など著名な院外講師から教えを受けることが出来ます。

感染症に関しては根本 隆章先生、膠原病に関しては陶山 恭博先生と一流の専門医を招いてカンファレンスも定期的に行っています。



具体的な研修内容紹介

●内科のコモンディジーズを幅広く経験できる。

城東病院総合内科は全ての内科疾患をカバーしています。一般的な肺炎や尿路感染などの感染症は言うまでもなく、心不全やCOPD、喘息、脳梗塞、膵炎、腸閉塞などの全ての領域の内科疾患の病棟管理をしています。また血管炎やリウマチ性多発筋痛症、化膿性脊椎炎や膿瘍など専門性が高い内科疾患も診療しています。

●救急から病棟、外来とシームレスに診療できる

病院が小規模だからこそ、シームレスな診療が可能です。救急で診療した患者さんをそのまま入院して、退院後は外来でフォローすることができます。ファーストタッチから 最後まで診療することで経験に深みが出ます。

●屋根瓦式の病棟診療

スタッフが総合診療で定評のある京都の洛和会出身なので、病棟診療は洛和会に準じた体制で行っています。チーム制で毎日指導医からのフィードバックが常に入る仕組みになっています。朝の回診、夕方のまとめを毎日行いチーム内で方針をディスカッションしています。また診療看護師も一緒に仕事をしているので、教えながら学ぶことも可能です。

●外来診療の充実

初診外来で全ての内科疾患を担当します。コモンディジーズを幅広く経験することができます。また診断やマネージメントに苦慮する症例では指導医と一緒に考え方針を決定することでフィードバックが入ります。

また継続外来も重視しており、糖尿病や高血圧などのコモンディジーズの慢性期の管理 も行うことができます。こちらも指導医からエビデンスを踏まえたアドバイスを受ける ことができます。

●病院で家庭医療の理論を実践

指導医の松本は家庭医療専門医であり家庭医医療の理論に基づいた指導を受けることができます。またチーフの森川と松本が共同編集で、南山堂の「治療」2016年10月号で病院×家庭医療の編集を行いました。病院での家庭医療の実践について勉強することができます。また家庭医療プログラムの研修医は、関東の家庭医療のメッカであるCFMDの教育診療所をローテーションすることができます。

●院外研修について

内科プログラムでは後期研修2年目に3ヶ月、後期研修3年目に半年間、院外研修を受けることが出来ます。本年度は藤田保健衛生大学ICUで研修を行っています。その他にも 膠原病や救急、感染症などニーズに応じて自由にカスタム出来ます。

また、ローテーション先の希望も最大限叶えるようにします。



家庭医療プログラムでは前述のCFMD教育診療所の他、JCHO基幹病院である新宿メディカルセンターおよび山手メディカルセンターの総合内科にローテーションを行うことで内科の基礎固めを徹底的に行います。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目	研修場所		東京城東病	院総合内科			東京新宿メディカルセンター							
144	研修領域		総合診療	専門研修Ⅱ			内科研修(チームG)			救急研修				
2年目	研修場所	東京城東病院総合内科							東京山手メディカルセンター					
2#8	研修領域	総合診療専門研修Ⅲ							小児科研修			内科研修(総合内科)		
3年目	研修場所	CAMD診療所(ふれあいファミリークリニック 他)												
3+1	研修領域				i	総合診療専	門研修Ⅰ							

研修終了後の主な進路

- ・他施設での総合診療スタッフ
- ・他施設での専門研修(血液内科、感染症、放射線科)
- ・希望者は全国のJCHO病院で総合内科の立ち上げも可能

その他・自由記載

若手主体の診療科なので自由にワイワイと楽しくやっています。

ノミュニケーションも盛んで、夏にはバーベキュー、年度末には両国のテラスで大宴会 を行っています。是非、一緒に働きましょう!

